

報告第11号

平成28年度養父町開発株式会社の経営状況について

平成28年度の養父町開発株式会社の経営状況は、別冊のとおりである。よって地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第2項の規定により、報告する。

平成29年9月19日提出

養父市長 広瀬 栄

平成 28 年度

経 営 状 況 報 告

養父町開発株式会社

自 平成28年7月 1日

第24期

事業報告書

至 平成29年6月30日

## 1. 営業の概要

当社第24期営業年度における国内景気は、緩やかな回復基調が見られるものの、個人消費は、賃金の伸び悩みや社会保険料の負担増加等、可処分所得の重石になり、節約志向も高まり、先行きは依然として不透明な状況にあります。

一方で、当地域においても北近畿豊岡自動車道八鹿日高道が開通し、但馬の玄関口として交流人口の増加が期待されているものの、地域における消費人口の増加が見えない中、新たに近隣に大手ドラッグストアの出店、また、商業施設計画が相次ぎ、同一商圈を抱える当社を取り巻く経営環境も一段と厳しさをまし、今後予断を許されない状況にあります。

このような状況の中、当社は、商業集積施設「やぶYタウン」の運営管理業務を中心に、宅地分譲事業、農業特区支援事業への取り組み、及び「JR養父駅」の管理受託業務を行い、地域の多くの皆様のご理解ご支援により、今期も堅実な経営を続けることができました。

特に、「やぶYタウン」につきましては、年次計画による経年劣化による駐車場内の改修工事（地盤改良を含む舗装工事）を本年度よりスタートさせ、又、出入口に防犯カメラの設置、緑地帯整備による環境整備等インフラ整備に取り組み、より安心、安全で気持ち良く買い物できる環境づくりにも務めさせていただきました。

また、宅地分譲事業（養父中学校前7区画）につきましても、残り1区画が完売でき、初期の目的であります若者定住促進による地域の活性化に貢献が出来たのではないかと考えております。

3年目になります農業特区支援事業につきましては、取り組みいただいた農産品（乳酸菌活用米）が先進取組地域との連携を模索する中、わずかではありますが販売につながる事例もでき、今後一人でも多くの地域の農業者が参加できる仕組みづくりも進めて行きたいと考えております。

今後は、大変厳しい経営環境ですが、今以上に地域の皆様の期待に応えるべき、養父町開発圏の将来を見据えた施設計画づくり等協議を進めながら、企業間体質の強化を図っていくべき努力する所存でございます。

もうひとつの事業であります「JR養父駅」の管理受託業務は、地域の重要な公共交通確保の一役を担うもので、利用者の増加につながらない厳しさはありますが、当社の地域での社会貢献としての重大さを痛感し堅実に業務を遂行してまいります。

なお、当期の利益処分案といたしましては、今期も2.7%の配当金を提案させていただきます。

当社が、より経営基盤の安定した会社を目指し、市民のための会社としての社会的責任を果たしていくためにも、株主の皆様の一層のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

以上、簡略ではありますが事業報告とさせていただきます。

## 2. 会社の現況

### (1) 資本金の推移

	当年度末	前年度末
資本金	8,500万円	8,500万円

### (2) 株式の状況

会社が発行する株式の総数	2,000株
発行済株式の総数	850株
額面・無額面の別	記名式額面株式
1株の金額	100,000円

(3) 株主数 45名 (平成29年6月30日現在)

# 貸借対照表

(単位：円)

養父町開発株式会社

平成29年 6月30日現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	41,456,016】	【流動負債】	20,946,243】
現金及び預金	37,022,034	未払金	13,476,136
短期貸付金	320,000	未払消費税等	1,086,600
未収入金	939,542	前受金	5,683,612
前払費用	3,174,440	預り金	89,795
【固定資産】	162,958,523】	未払法人税等	610,100
(有形固定資産)	( 147,352,615)	【固定負債】	76,361,874】
建物	36,314,959	長期借入金	44,340,000
建物付属設備	5,947,069	商業開発預り敷金	32,021,874
構築物	20,561,652	【引当金】	15,355,000】
車両運搬具	1	修繕引当金	15,355,000
工具器具備品	74,383	負債の部計	112,663,117
土地	84,454,551		
(無形固定資産)	( 674,984)		
電話加入権	74,984	純資産の部	
差入保証金	600,000	【株主資本】	92,185,870】
(投資その他の資産)	( 14,930,924)	【資本金】	85,000,000】
出資金	200,000	【利益剰余金】	7,185,870】
長期前払費用	14,710,924	利益準備金	3,478,910
保証金	20,000	(その他利益剰余金)	( 3,706,960)
【繰延資産】	434,448】	繰越利益剰余金	3,706,960
上水道加入金	434,448	純資産の部計	92,185,870
資産の部計	204,848,987	負債・純資産の部計	204,848,987

# 損 益 計 算 書

(単位：円)

自 平成28年 7月 1日

至 平成29年 6月30日

養父町開発株式会社

科 目	金 額	金 額
【売 上 高】		
宅地分譲売上高	9,008,800	
Yタウン賃貸料	78,819,616	
Yタウン共益費	14,983,408	
駐車場賃貸料	4,652,568	
有機農法事業売上	1,096,600	108,560,992
【売 上 原 価】		
Yタウン賃借料	38,360,180	
Yタウン経費	7,649,752	
広告塔賃借料	312,000	
仕 入 高	647,460	
当期製品製造原価	26,947,954	
合 計	73,917,346	73,917,346
売 上 総 利 益		34,643,646
【販売費及び一般管理費】		23,523,881
営 業 利 益		11,119,765
【営業外収益】		
受 取 利 息	3,461	
受 取 手 数 料	240,000	
雑 収 入	2,100,195	2,343,656
【営業外費用】		
支払利息・割引料	486,805	
繰延資産償却費	465,828	952,633
経 常 利 益		12,510,788
【特 別 損 失】		
固定資産処分損	1,499,976	
修繕引当金繰入	5,780,000	7,279,976
税引前当期純利益		5,230,812
法人税住民税事業税		2,699,400
当 期 純 利 益		2,531,412

# 個別注記表

養父町開発株式会社

自 平成28年 7月 1日  
至 平成29年 6月30日

## 1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

有価証券の評価基準及び評価方法

有価証券……総平均法による原価法

棚卸資産の評価基準及び評価方法

原材料・仕掛品・製品……移動平均法による原価法

商品・貯蔵品……総平均法による原価法

固定資産の減価償却の方法

税法に規定する償却期間で償却している。

引当金の計上基準

貸倒引当金

債権の貸倒損失に備えるために、過去の貸倒実績率による繰入率によるほか、債権の内容を検討して計上している。

消費税の会計処理

税込方式で計上している。

収益及び費用の計上基準

収益については実現主義により、費用については発生主義により計上している。

中小企業会計に関する基本要領

## 2. 貸借対照表に関する注記

資産に係る減価償却累計額を直接控除した額 154,331,305 円

保証債務、手形遡求債務、重要な係争事件に係る損害賠償義務その他債務の注記

受取手形割引高 0 円

受取手形裏書譲渡高 0 円

## 3. 株主資本等変動計算書に関する注記

当事業年度末日における発行済株式の数 850株

当事業年度末日における自己株式の数 0株

当事業年度中に行った剰余金の配当に関する事項(当事業年度の末日後行う

剰余金の配当のうち、剰余金の配当を受ける者を定めるための法第124条第1項に規定する基準日が当事業年度中のものを含む。)

平成28年8月24日の定時株主総会

配当に関する事項

配当財産が金銭の場合

金銭配当の株式の種類別内訳

配当金の総額

1株当たり配当額 0円

2,700 円

基準日

平成28年 6月30日

効力発生日

平成28年 8月24日

## 4. 1株当たり情報に関する注記

純資産額 108,453円96銭

当期純利益 2,978円13銭

第2号議案

剰余金処分の件

利益処分案

科 目	金 額	
	円	円
【繰越利益剰余金】		3,706,960
【利益処分額】		
利益準備金	229,500	
配当金 (2.7%)	2,295,000	2,524,500
【次期繰越利益】		1,182,460

平成 29 年 8 月 21 日